

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		令和6年度 第1回川島町総合振興計画審議会
開 催 日 時		令和6年11月18日（月）午後2時から4時
開 催 場 所		川島町役場 2階 中会議室
議 題		(1) 第6次川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略後期基本計画の策定について (2) 実施計画（令和7年～令和9年）及び後期基本計画施策・評価指標について (3) その他
公開・非公開の別		公 開（傍聴者0名） ・ 非公開 ・ 一部非公開
非 公 開 の 理 由 (非公開の場合のみ)		
出 席 者	委 員	利根川委員、横川委員、黒凶委員、猪鼻(芳)委員、猪鼻(昌)委員 石島委員、猪鼻(静)委員、今井委員、小山委員、渋谷委員 西村委員、矢田堀委員、田中委員
	事務局職員	政策推進課 藤間課長、松本主幹、木村主査、笛木主事
配 布 資 料		会議次第、資料1～12
審議会等の内容・概要		
<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱状の交付</p> <p>3 自己紹介（資料1）</p> <p>4 町長あいさつ</p> <p>5 会長選出（資料2）</p> <p>川島町総合振興計画審議会条例第4条に基づき、委員の互選により、会長に明治大学政治経済学部教授 西村 弥 氏、副会長に川島町副町長 石島 一久 氏が選出された</p> <p>6 会長あいさつ</p> <p>7 諮 問</p> <p>飯島町長より、川島町総合振興計画審議会西村会長に諮問書を手渡した。</p>		

8 議 事

(事務局より議事に入る前に、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議公開は議事より行うこととし、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。)

会 長：議事に入る前に、議事録署名委員を指名する。横川委員、黒図委員に願うする。

(1) 第6次川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略後期基本計画の策定について(事務局にて資料4及び7を用いて説明。資料5及び6については参考資料として説明は省略。)

→意見なし

(2) 実施計画(令和7年～令和9年)及び後期基本計画施策・評価指標について(事務局にて資料8及び9を用いて説明。10～12は参考資料として説明は省略。以下、意見があった事業についてのみ記述する。なお、時系列でなく、施策順とする。)

(施策全体)

委 員：評価について、達成率計算式における評価と合わないものが見受けられる。評価方法については、統一を図るべき。

事務局：確認のうえ、公表時に修正する。

(戦略目標1 まもる 評価指標「住み続けたいと思う町民の割合」)

委 員：基準値に対し、令和5年度は56.1%と著しく低下しているが、低下理由は、

事務局：町民アンケートでは、公共交通に関する満足度が極めて低く、影響を及ぼしているものと考えられる。また、若年層において、定住意向が低いという結果が出ている。

会 長：基準である令和2年度はコロナ禍であることから、特異的な数値となっていないか確認をお願いしたい。

事務局：確認のうえ、第2回会議時に報告する。

(戦略目標1 まもる 重要施策1「災害に備える環境整備」)

会 長：高台避難場所について、後期基本計画では令和12年度工事着手数2か所となっている。進捗管理が複雑となるが、適切に管理をお願いしたい。

事務局：実施計画の中で適正に管理できるよう担当と調整する。

(戦略目標1 まもる 施策2「消防・防災体制の充実」)

委 員：区長会単位で活動している地域は、人の交代もあり、リーダーの人数も増えない問題がある。自主防災組織が機能するようお願いしたい。

会 長：後期計画では、地域防災活動数に指標の変更を予定しており、ご指摘の内容を反映できるのではないかと思う。

(戦略目標1 まもる 施策6「福祉のまちづくり」)

委員：内容について、福祉ボランティアと地域ボランティアが混在している。人数の中には町の清掃や国際交流を行っているようなボランティアも含まれるか。

委員：社会福祉協議会はボランティアのまとめ役になっていると思うので、55人の内訳の確認をお願いしたい。

事務局：確認のうえ、第2回会議時に報告する。

(戦略目標1 まもる 施策14-2「住みよいまちづくり」)

委員：空き家の活用件数について、実績9件の内訳をご教示いただきたい。

事務局：解体2件、売却7件である。

委員：他自治体の事例では、宿泊施設等利活用を図っている事例もある。そういった活用方法について、いかがか。

事務局：今年度、明治大学と共同研究で、空き家の利活用に係る検討を行っている。研究結果も踏まえ、利活用施策について、検討を図りたいと考えている。

(戦略目標1 まもる 施策16「安全に通行できる道路の整備」)

委員：評価指標では町道1-2号線が挙げられているが、その他一般町道はいかがか。

事務局：一般町道を含めると、幅広くなってしまいうため、代表するものに絞って評価している。また、一般町道を含めて整備率を図った場合、整備率は伸びていく傾向にあるが、地域の要望を拾えないため、後期計画では満足度に指標変更を変更する予定である。

(戦略目標2 つなぐ 施策1「多文化共生社会の推進」)

委員：評価指標における目標値について、令和12年度は6回となっているが、毎年事業を増やしていくことは現実的でない。

事務局：担当課と調整のうえ、現実的な数値となるよう調整を図る。

会長：机上の空論とならないよう、実施団体との調整をお願いしたい。

事務局：調整が必要なものについて、洗い出しをおこない、関係部署と調整する。

(戦略目標2 つなぐ 施策5「新しいつながりの創出」)

委員：ふるさと納税について、進行管理のうえでは寄付金額も見べきではないか。

事務局：基本計画内では寄付件数を指標とするが、実施計画においては、サブ指標として寄付金額を設定し、進行管理を図ることとする。

(戦略目標2 つなぐ 施策7「デジタル化の推進」)

会長：後期計画において電子申請件数としているが、何の申請を表しているのか。

事務局：事業者からの申請を含め、すべての申請と考えている。

会長：現状で町に対して何件の申請があるのか、そのうち令和12年度の目標値である4,000件は何%なのか、割合で示したほうがよいのでは。

事務局：確認する。

(戦略目標2 つなぐ 施策8 「広域連携の推進」)

委員：後期計画において指標を広域連携による新規事業数としているが、事業の見直しについても含めるのか。

事務局：広域にて毎年新たな事業を展開するというのは現実的でないため、事業の見直しも含めることで考えている。

(3) その他

事務局：戦略目標3・4については、26日(火)の第2回審議会にて、ご審議をお願いしたい。また、本日も指摘いただいた内容についても、可能な限り回答できるように準備する。

8 閉 会

署 名	植川 公 久
	黒田 光 男